

アドミッション・ポリシー (求める人材像と求める力)

融合理工学系では、次のような方々を求めます。

- ・国際社会が抱える問題や地域社会の問題に興味を持ち、それを解決するための高度な学問を学ぶ意欲を有すること
- ・自分の得意分野を極める意欲と関連分野を広く学ぼうとする柔軟性を併せ持つこと
- ・高度な融合理工学を修得するための基礎的な学力が十分であること
- ・国際的なコミュニケーション力、マネジメント力、協働力の基礎ができていること

アドミッション・ポリシー (入学者選抜方針)

融合理工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、融合理工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 地球環境共創分野の専門基礎学力の修得 (修得能力 I)

地球環境共創分野の土台となる専門学力の修得により、問題解決のためのツールと方法論の理解を深め、問題設定力を涵養する。

B) 地球環境共創分野周辺の広い専門学力の修得 (修得能力 I, II)

1つの専門分野だけではなく、いくつかの専門分野にまたがる学際的専門学力を修得する。

C) 問題を自ら設定し解決する力の修得 (修得能力 II, III)

社会・環境・国際プロジェクトに関する基礎的講義および演習を通じて、技術者倫理に配慮しながら問題を解決する実践的問題解決能力の修得・向上を図る。

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

D) 研究分野の最新動向を把握・体系化する能力 (修得能力Ⅱ,Ⅲ)

専門分野における自らの研究の位置づけと貢献を理解し、研究の最新動向を把握するとともに、専門分野の発展に資する学問の体系化に寄与できる研究力を修得する。

E) 実践的な国際的コミュニケーション力の育成 (修得能力Ⅲ)

研究室における日本人学生と留学生の混在学習により、コミュニケーション力を涵養する。また、国際インターンシップ等の実習を通じて実践的国際協働力を修得する。

ディグリー・ポリシー (修得する力)

地球環境共創コースでは、次のような力を学士課程より高い基準で修得することができる。

- 広い分野に応用できる発展的基盤能力
 - ・論理・数学・解析技術の適切な選択と応用能力
 - ・物理現象・自然現象の本質に対する分析力・洞察力
- 既存の学問分野に囚われない発展的応用能力
 - ・問題を抽出・設定し、適切な手法で解決できる能力
 - ・システムを設計し、管理・運用する能力
- グローバルエンジニアとしての高度な人間力
 - ・国際協働能力
 - ・社会的責任感・倫理観
 - ・自己展開力